



ココルクネベフ

江別版CCRC※
生涯活躍のまち拠点地域



※米国で普及したCCRC(Continuing Care Retirement Community)が発祥。健康時から介護時まで継続的なケア環境の下で、自立した社会生活を送ることができるコミュニティを意味する。

江別市長メッセージ

江別版「生涯活躍のまち」構想とは

国は、大都市から地方への移住や地域内の「まちなか」への住み替え等を目指し、生涯活躍のまち構想(日本版CCRC)を平成27年12月に取りまとめました。

一方、江別市では、地域特性や人口減少などの課題を踏まえ、東京圏から移住してもらうのではなく、市内に住む江別市民が生涯にわたって安心して生活できるまちづくりや、若年層や障がい者など多様な主体との交流による「共生のまち」を実現するため、江別版「生涯活躍のまち」構想を平成29年3月に策定しました。構想では、市民が生涯にわたっていきいきと暮らしていただくため、札幌盲学校跡地の一部を中心とした大麻タウン型モデルのまちづくりを推進し、大麻地区から江別市全体へ波及させていくこととしました。

生涯活躍のまち整備事業～オープンに向けて～

平成30年8月には、社会福祉法人日本介護事業団を代表法人とした、つしま医療福祉グループが整備事業者として公募により選定され、令和2年には、拠点地域の愛称をココルクえべつとしました。

令和3年4月には、パン工房「あさのわ」、レストラン「開拓うどん・こう福亭」、温泉「ココルクの湯」、障がい者グループホーム「なかま江別」がオープンし、市民の皆様にご足運んでいただくことができました。その後も施設を順次開設し、9月にはサービス付き高齢者向け住宅「ゆうゆうじてき江別」、介護老人保健施設「日本介護江別」の利用が開始され、全面オープンを迎えます。



今後の取組み～構想の実現に向けて～

ようやく迎えたオープンではありますが、ここがゴールではありません。多くの市民の皆様にとって、ココルクえべつが、親しみやすく、気軽に立ち寄っていただけるまちになることが重要です。また、江別市が進める高等養護学校の誘致が実現することで、ココルクえべつをフィールドに様々な実習や体験が可能となるなど、充実した障がい者支援が展開されることとなります。

今後は、高齢者や障がい者、若者などが、この地域に集い交流の輪を広げていけるよう、様々なイベントの開催をはじめとした地域交流事業や、ボランティア活動、施設の地域開放などに取り組んでまいります。

将来、ココルクえべつでの様々な取組みを、全市に広げていくことで、共生のまちの実現につなげていきたいと考えておりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和3年(2021年)8月

江別市長 三好 昇

ココルクえべつの目指す方向



ココルクえべつ

ロゴについて

ハートには優しさや愛、若葉には自然や安らぎ、羽には飛躍や活動的という意味が込められたロゴマークです。活動的でありながら、安心さと落ち着いた雰囲気をオレンジ色や茶色などの暖色系で表現しました。

市 民が住み慣れた地域で

生涯にわたって安心して暮らし続けられるまち

子 どもや若年層、障がい者、高齢者など

多様な主体が交流できる「共生のまち」

事 業者が主体となり、江別市、自治会、

市内4大学、商店街などが連携する活力あるまち

江別市生涯活躍のまち

整備事業イメージ図



社会参加を促す仕組み

■ 健康でアクティブな生活の実現 ■

- ・ 交流農園、パン工房・レストラン等での就労
- ・ 市内4大学との連携(食・健康講座、スポーツ指導、農福連携、農業指導等)
- ・ ココルクえべつを中心としたボランティア活動
- ・ 地元商店街との交流(イベント、買物)
- ・ パークゴルフ場での交流、イベント利用



高等養護学校との連携・障がい者支援

■ 江別市ならではの機能 ■

- ・ ココルクえべつでの実習・就業体験(施設・農園等)
- ・ 卒業後にココルクえべつで就職・定住(グループホーム)
- ・ ココルクえべつでのボランティア、イベント交流
- ・ 就労継続支援A型事業所(パン工房、レストラン)の運営を通じた就労支援



地域交流

■ 地域の多世代の住民との協働 ■

- ・ 地域交流拠点施設の設置・運営
- ・ パン工房、レストラン(就労継続支援A型事業所)
- ・ 温泉入浴施設
- ・ 交流広場(入居者・地域住民等の利用)
- ・ 市内4大学学生のボランティア活動
- ・ 子育て支援の取組み(地域あそびのひろば等)



住まい・住み替え支援

■ 希望に応じた住み替えの推進 ■

- ・ サービス付き高齢者向け住宅
- ・ 障がい者グループホーム
- ・ 住み替え・移住希望に対する相談対応



介護・医療・子育てサービス

■ 継続的なケアの確保 ■

- ・ 特別養護老人ホーム
- ・ 介護老人保健施設
- ・ 看護小規模多機能型居宅介護事業所
- ・ 市立病院等地域医療機関との連携
- ・ 地域包括ケア体制の推進
- ・ 生活相談支援
- ・ 企業内保育所

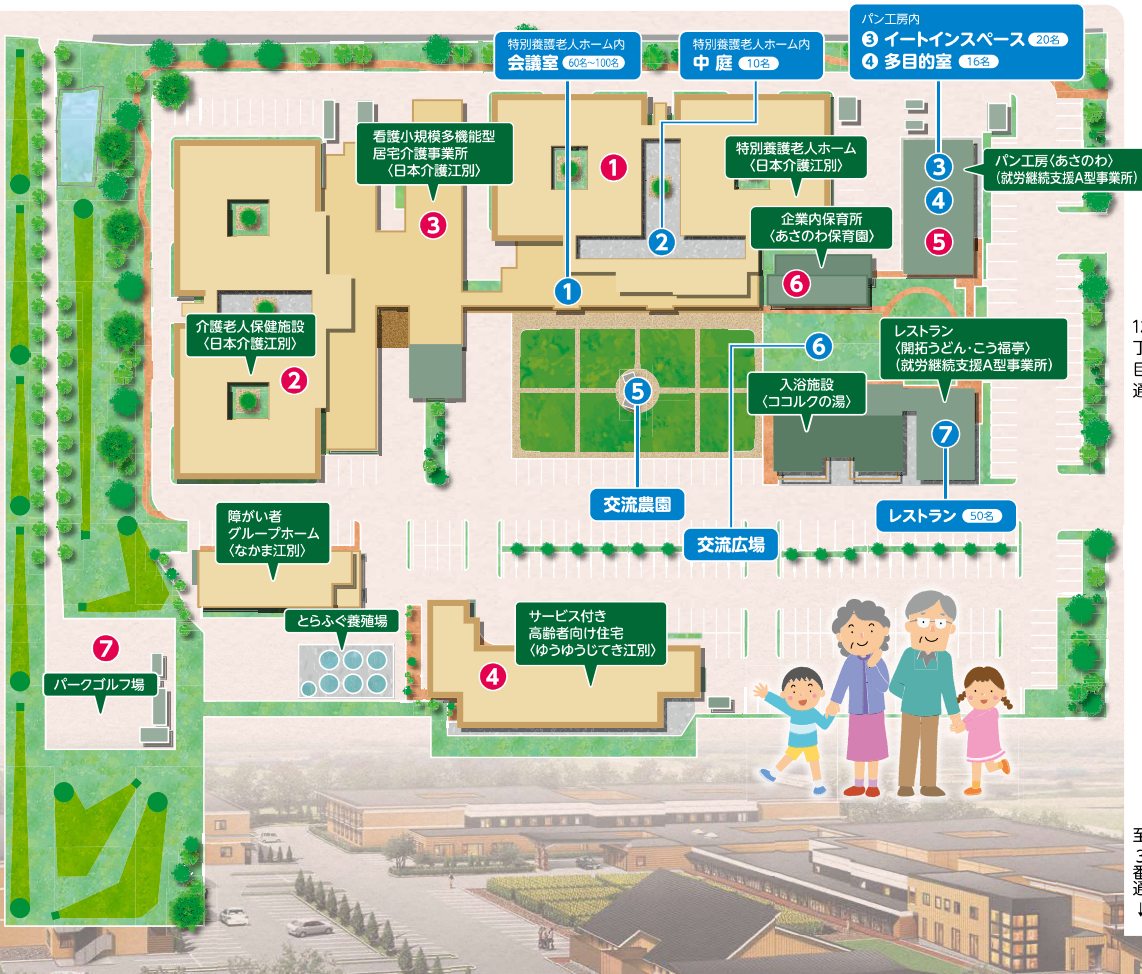
ココルクえべつ案内図



← 札幌方面

4 番 通

野幌・江別方面 →



12 丁目通

至 3 番通 ↓

- 青の数字 … 地域開放スペース
- 赤の数字 … ボランティア活動場所

みんなが利用できる場所

(地域への開放スペース)

利用例	1	4	7
音楽イベント	●	●	●
サークル、クラブ活動	●	●	●
子どもの遊び場	●	●	●
屋外イベント	●	●	●

※あくまでも一例です。予約は9月から、利用は10月から可能です。

各施設の収容人数は目安です。

ボランティアの活躍場所

- 施設、事業所運営 …………… ①～③
 ① 施設内の清掃、消毒、除雪、入居者の話し相手、外出サポート、季節イベントスタッフ など
- 有償ボランティア …………… ④
 ④ 書道、フラワーアレンジメント、ヨガ、体操の講師 など
- 交流ボランティア …………… ⑤～⑦
 ⑤ サロン等の会場準備、子どもの遊び相手、手づくりおもちゃ製作、多世代交流サロン、あそびのひろば、重度肢体不自由児者・医療的ケア児親子サロン、パークゴルフ場の整備 など

※あくまでも一例です。興味がある方はココルクえべつ事務局までご連絡ください。



STEP 5

地域交流の取組み

令和3年から始動
活力あるまちづくりを実現するため、
形成事業計画に沿った地域交流(様々な
イベント、施設開放、ボランティア活動など)
の取組みを推進

STEP 4

ココルクえべつ(生涯活躍のまち拠点地域) OPEN

令和3年4月からオープン
4月：レストラン・パン工房(障がい者就労継続支援A型
事業所)、入浴施設、障がい者グループホーム
7月：企業内保育所、特別養護老人ホーム、看護小規模多
機能型居宅介護事業所、パークゴルフ場、交流広場
9月：サービス付き高齢者向け住宅、介護老人保健施設
～ フルオープン ～

STEP 3

生涯活躍のまち形成事業計画の策定

令和2年3月策定
「生涯活躍のまち」構想を実現するための具体的な事業内容を記載
※この計画によりサービス付き高齢者向け住宅の入居要件を
60歳以上から50歳以上とすることが可能となる。

STEP 2

事業者の選定

平成30年5～8月公募・選定
「社会福祉法人日本介護事業団を代表法人とするグループ」に決定

STEP 1

江別版「生涯活躍のまち」構想策定

平成29年3月策定。札幌盲学校跡地の一部を中心とした
大麻タウン型モデルを推進

【構想の基本的な考え方】

- ・ 江別市民が生涯にわたって安心して生活できるまちづくりを目指す。
- ・ 若年層や障がい者など多様な主体との交流による「共生のまち」を実現し、
まちの持続可能性を高める。
- ・ 大学をはじめとする地域の特色ある社会資源を十分に活用する。

地域交流の取組み(例)

多世代交流サロン

子育て中のパパもママも、おじいちゃんもおばあちゃんも、子どもと遊んだりお茶を飲んでリフレッシュしたり、誰もが集える場を提供します。



多世代交流サロン(羊毛フェルト作成中の様子)

重度肢体不自由児者・医療的ケア児親子サロン

たんの吸引、人工呼吸器使用など、医療的なケアが日常的に必要なお子さんを持つ親子が気軽に交流できる場を提供します。



読書でつながるイベント

出張ブックストリートや読書会、講演会など、本好きの方が集えるようなイベントを開催します。



このほか、
各種イベントも
行っています！



上記取組みは、あくまでも一例です。また、取組みや内容が変更となる場合があります。今後、地域の皆様のご意見などもお聞きしながら、更に充実した地域交流について検討していきます。

地域のあそびのひろば

就学前のお子さんを持つ親子が気軽に集い、交流できる場として「地域のあそびのひろば」を開催します。



小中学校との交流

市内の小中学校の生活科や総合学習での学習の場として活用するほか、音楽や作品発表の場として、利用者や居住者との交流を図ります。



ボランティア活動

高齢者(アクティブシニア)や市内4大学の学生、商店街、自治会などの地域資源によるボランティア活動で、活力あるまちを目指します。



「ココルクえべつ」 アクセスマップ



「ココルクえべつ」最寄りのバス停(路線)と バス停からの徒歩時間

自治会等のグループ単位で見学をご希望の場合は、
無料の送迎バスを運行いたします。
詳しくは、ココルクえべつ事務局までお問い合わせください。

バス停	路線	徒歩時間
3番通12丁目	中央バス(江別・新さっぽろ線)	4分
大森12丁目	中央バス(江別2番通線)	8分
	JRバス(大森団地線)	
	JRバス(米里線)	

知っていますか? ココルクえべつの名前の由来

「いろいろな世代の方が安心して訪れたいまち『ココルク』、
逆から読むと『クルココ(来る、ここ)』。
どんな状態になっても希望にあふれた充実したまちになってほしい。
生涯活躍のまち『CCRC』を『ココルク』と読ませることで、
誰にも親しみ深い名称に」との思いが込められています。
181件の応募の中から選ばれました。



ココルクえべつ
公式アカウント



フェイスブックや
ツイッター・インスタ
グラムでも情報発信
していますので、
是非ご覧ください!

お問い合わせ先

■ ココルクえべつ事務局

住所 江別市大森元町154番地 電話 011-807-7260

■ 江別市企画政策部政策推進課

住所 江別市高砂町6番地(江別市役所2階) 電話 011-381-1033